

8.19 大阪府原子炉問題審議会へ の宣傳 「住民・学生・労働者による行動!」

実験炉は二号炉計画を撤回せよ！ 住民70名が決起に応えて斗おう！

去る8月19日、大阪府原3号炉問題審議会の席上、外山会長の名で、2号炉推進を基調とした「答申素案」が、住民、学生、労働者百数十人の包囲の中で提出された。このことを我々は 憤りを込めて糾弾する!!

／＼ 2号炉認可の
「答申素案を撤回せよ！」／＼

この日提出された「素案」は、前回7月12日の審議会に提出され、「住民が納得しないうちに、答申云々はおかしい」として撤回されたものと同一である。住民は1ヶ月の間に納得するどころか、反対運動を広範かつ強固にしている。「素案」は直ちに撤回されるべきである！

「素案」は推進側、とくに京大実験所の意見をうのみにして、2号炉認可を基調としている。

「素案」は本末ほこらである。2号炉は学向上有道義かつ必要である。安全対策は万全。住民の反対運動は京大実験所が広報活動を怠ったからにすぎない。実験所は地元市町に見返り金を支払い、地元とともに発展する実験所になるべきである。

だが実際にはどうだろう。2号炉は設計ミスによる欠陥炉であり、しかも時代遅れで役に立たない。安全審査を数回のエマガミで切り抜けているため、地震等による大事故が心配されている。(既に昨年末に2度、今年7月に1度、想定をくつ返した)。しかもこのことは、住民・学生にはいた適しにされ、いつ、「見返り金」云々については、住民の命を安て買ひとる筈か、とだけいっておこう。

去る5月23日、「意見交換会」の席上、これらの真につれての住民の道筋をうけ、実験所は、顔を赤くしたり青くしたりするばかりで、一片の「科學的回答」もてこなかつたのである。

／＼ 住民・労働者・学生の国にてクラムで
2号炉認可・見返り金止(さう)!!／＼

8月19日、審議会会場(大阪府警署のオーテル)には、熊取町住民70名、京大学生25名など百数十名がつむかけ、反対の意志表示を行なった。しかし、オーテルは門を閉ざし、オーテル周辺には數十名の警察官が、我々への弾圧にあたった。そもそも、原子炉の「自主・民主・公開」のために設置された審議会である。

審議会内外多数派や京大実験所をはじめとする推進側は、警察暴力の暴力をもちいてきでも、2号炉建設を主張している。しかし我々は、今も放射能をタレ流している! 号炉とともに、2号炉計画は絶対に許さない! 大量の被爆者を生じ原子力発電の推進と、核兵器の開発に加担する、京大原子炉を許さない。反戦・反核の斗争を口先だけで終わらせてはなるまい。我々は、地元住民、大阪府の労働者との团结でくらひで斗争ぬく! 君も、省内管理強化と「沈黙の壁を打ちやぶり、我々とともに斗争せん!

—9月4日、教養部事務官・追々行動について報告しよう。
最近相づぐ 管理強化攻撃について、教養部事務長、森田を追々し、以下のことを約束させた。

・尚賢館の電気、電話を復舊する。

・貼り紙防止剤塗布はもうやらない。

・車が通れば、立て看板を撤回しない。

また以下のことが暴露された。

・貼り紙防止剤について、時計台から430万円の予算が出て行つた後、總長次田から示唆された。

今後も追々の手はゆるめないこと宣言する。

